

建物被災状況報告書
(交付申請用)

平成 30 年〇〇月〇〇日

中小 花子 様

(調査建築士)

住所 広島市中区基町〇〇番〇〇号
名称 広島 一郎 印
連絡先 〇〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇

以下の施設について、平成 30 年 7 月豪雨による被災の状況を調査した結果、以下のとおり被災状況を確認したので報告致します。

記

保有建築資格種類	〇級建築士 [登録番号]
調査年月日	平成 30 年〇〇月〇〇日
被災建物所在	広島市安佐北区〇〇××-××
所有者名(補助事業者名)	中小 花子
家屋番号又は附属建物種類	××-××
建物の種類	店舗
被災の原因及び状況の概略	平成 30 年 7 月豪雨により、建物基礎が損傷。外壁も一部崩壊している。

建物登記簿の表題部に記載があります。

(1) 【外観による調査結果詳細】 ※該当のチェック欄にレ点 (1箇所のみ)

番号	項目	チェック	被災規模
①	一見して建物全部が倒壊又は流失	<input type="checkbox"/>	全壊
②	一見して建物の1部の階が全部倒壊	<input type="checkbox"/>	全壊

(2) 【傾斜による判定】 ※ (1) のいずれにも該当しない場合

①	外壁又は柱の傾斜が(木造・プレハブ) : 1/20 以上, (非木造) : 1/30 以上	<input type="checkbox"/>	全壊
②	外壁又は柱の傾斜が 1/60 以上又は外観に外力による損傷がある	<input type="checkbox"/>	(4) で判定

(3) 【浸水深による判定】 ※ (1) (2) のいずれにも該当しない場合

①	浸水が床上まで達している	<input checked="" type="checkbox"/>	(4) で判定
②	浸水が床上まで達していない	<input type="checkbox"/>	半壊に至らない

(4) 【部位による判定】 ※ (2) ②又は(3) ①に該当した場合

①	柱(又は耐力壁)又は木造・プレハブの場合は基礎、非木造の場合は梁の損傷率が75%以上	<input type="checkbox"/>	全壊	
②	建物の損害割合 ※(4) - ①に該当しない場合	50%以上	<input type="checkbox"/>	全壊
		40%以上50%未満	<input checked="" type="checkbox"/>	大規模半壊
		20%以上40%未満	<input type="checkbox"/>	半壊
		20%未満	<input type="checkbox"/>	半壊に至らない
		0%	<input type="checkbox"/>	損壊なし

※1 「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」(内閣府 平成30年3月)を参考に現地調査した結果を記載すること。

※2 複数の建物の被災状況を報告する場合、建物1棟につき1部ずつ発行すること。

※3 判断の根拠の説明を付した写真及び当該建物が分かる平面図を添付すること。